

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【公開番号】特開 2012-104964 (P2012-104964A)

【公開日】平成 24 年 5 月 31 日 (2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報 2012-021

【出願番号】特願 2010-250207 (P2010-250207)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 7/18 K

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 8 日 (2013.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一の物体の異なる方向に対応した複数の辞書のデータを格納する辞書記憶手段と、
前記複数の辞書のそれぞれに対して画像における適用領域を設定する設定手段と、
前記複数の辞書のそれぞれを用いて当該辞書に対して前記設定された適用領域において
前記物体を認識する認識手段と
 を備え、
 前記複数の辞書の適用領域は、重複する領域を含んでいることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記画像は、時間的に連続した画像であり、
前記認識手段は、少なくとも 2 つの辞書で重複する適用領域に対して、時間的に連続した
画像ごとに使用する辞書を切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置
 。

【請求項 3】

同一の物体の異なる方向に対応した複数の辞書のそれぞれに対して画像における適用領域を設定する設定ステップと、
前記複数の辞書のそれぞれを用いて当該辞書に対して前記設定された適用領域において
前記物体を認識する認識ステップと
 を備え、
 前記複数の辞書の適用領域は、重複する領域を含んでいることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の画像処理方法の各ステップをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

前述した目的を達成するために、本発明は、同一の物体の異なる方向に対応した複数の辞書のデータを格納する辞書記憶手段と、前記複数の辞書のそれぞれに対して画像における適用領域を設定する設定手段と、前記複数の辞書のそれぞれを用いて当該辞書に対して前記設定された適用領域において前記物体を認識する認識手段とを備え、前記複数の辞書の適用領域は、重複する領域を含んでいることを特徴とする画像処理装置等、を提供する

。